

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	1 年生	期 別	通 年	科目の実務経歴	有
授業科目名	鍼灸基礎実習Ⅱ			担当教員	中澤麻耶・餌取光輝		
授業の方法	実 技			単位数	2 単位	時間数	60時間
学修内容	灸施術に関する基本的な技術と知識を習得し、安全かつ確実な施術を行なうことができる能力を身につける。施術者としての品位、道具の扱い、衛生管理について身につける。						
授業の到達目標	I. プロフェッショナリズム 1. 他者を思いやり尊重する態度 2. 聴く・観る・書く・伝える 3. 自己の役割を誠実に果たす姿勢 4. 自己点検・自己評価および自己研鑽に努める態度 8. リスク管理 5. はき施術を安全かつ適切に施す能力 II. 医学的知識 1. 身だしなみ・礼儀やマナー III. 基本的臨床能力 3. 患者に対するホスピタリティ・共感的態度 IV コミュニケーション 4. 他者と良好な関係を構築できる能力						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	第1章 基礎実習 (1) 艾の種類	3. 灸の基本実技	1	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類 (1) 有痕灸	3. 灸の基本実技 人体自己施灸 緩和法	
	2	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類	3. 灸の基本実技 (1) 有痕灸 A) 透熱灸の手順	2	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類 (1) 有痕灸	3. 灸の基本実技 人体施灸 前腕	
	3	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類	3. 灸の基本実技 (1) 有痕灸 A) 透熱灸の手順	3	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類 (1) 有痕灸	3. 灸の基本実技 人体施灸 前腕	
	4	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類	3. 灸の基本実技 (1) 有痕灸 A) 透熱灸の手順	4	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類 (1) 有痕灸	3. 灸の基本実技 人体施灸 前腕	
	5	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類	3. 灸の基本実技 (1) 有痕灸 A) 透熱灸の手順	5	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類 (1) 有痕灸	3. 灸の基本実技 人体施灸 下腿	
	6	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類	3. 灸の基本実技 (1) 有痕灸 A) 透熱灸の手順	6	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類 (1) 有痕灸	3. 灸の基本実技 人体施灸 下腿	
	7	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類	3. 灸の基本実技 (1) 有痕灸 A) 透熱灸の手順	7	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類 (1) 有痕灸	3. 灸の基本実技 人体施灸 下腿	
	8	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類	3. 灸の基本実技 (1) 有痕灸 A) 透熱灸の手順	8	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類 (2) 無痕灸	3. 灸の基本実技	
	9	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類	3. 灸の基本実技 (1) 有痕灸 A) 透熱灸の手順	9	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類 (2) 無痕灸	3. 灸の基本実技	
	10	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類	3. 灸の基本実技 (1) 有痕灸 A) 透熱灸の手順	10	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類 (2) 無痕灸	3. 灸の基本実技 A. 知熱灸 (腰部)	
	11	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類	3. 灸の基本実技 (1) 有痕灸 人体自己施灸	11	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類 (2) 無痕灸	3. 灸の基本実技 A. 知熱灸 (腰部)	
	12	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類	3. 灸の基本実技 (1) 有痕灸 人体自己施灸 緩和法	12	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類 (1) 有痕灸	3. 灸の基本実技 人体施灸 腰部	
	13	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類	3. 灸の基本実技 (1) 有痕灸 人体自己施灸 緩和法	13	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類 (1) 有痕灸	3. 灸の基本実技 人体施灸 腰部	
	14	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類	3. 灸の基本実技 (1) 有痕灸 人体自己施灸 緩和法	14	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類 (1) 有痕灸	3. 灸の基本実技 人体施灸 腰部	
15	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類	3. 灸の基本実技 (1) 有痕灸 人体自己施灸 緩和法	15	第1章 基礎実習 2) 灸術の種類 (1) 有痕灸	3. 灸の基本実技 人体施灸 腰部		
評価基準	評価: 90-100点 (A評価)、80-89点 (B評価)、70-79点 (C評価)、60-69点 (D評価)、59点以下 (F・不可)						
評価方法	中間試験40%、期末試験40%、平常点20%の割合で評価します。			実務経歴	臨床歴: 12年 教員歴: 10年		
履修上の注意	身だしなみに注意し、遅刻、欠席、忘れ物をしないようにお願いします。			授業時間外の学習	時間が合えば放課後の練習に付き合います。声をかけてください。		
使用教材	教科書: 東洋療法学校協会編 はりきゅう実技〈基礎編〉 参考図書: 医歯薬出版社 鍼灸医療安全ガイドライン 尾崎昭弘・坂本 歩編集 必要に応じてプリント配布			連絡先	質問や相談があるときは事務課を通して直接訪ねてください。		